

ともに守る 安全・安心な暮らしを守り支えるまち

■防災ハザードマップ作成事業

……………693万円
いざというときに市民の皆さんが慌てず適切に行動していただくツールとして、和歌山県の指定が完了した土砂災害警戒区域と特別警戒区域を反映した地区別ハザードマップを作成し、全戸配布しました。

■緊急自然災害防止対策事業

……………1,410万9千円
台風などによる自然災害の防止のため、大谷川の護岸整備工事や学文路地域における浸水対策工事、排水ポンプの発電機購入、高野口町嵯峨谷地域の市道への落石対策工事を行いました。

■通学路安全対策施設整備事業

……………1,495万3千円
通学路の安全を確保するための橋本市通学路交通安全プログラムに基づき、令和2年度では市道慶賀野垂井線に防護柵を継続設置するとともに、御幸辻吉原線と山田新田線との交差点に道路照明灯の整備を行いました。

■杉村やすらぎ広場整備事業

……………3,578万9千円
杉村公園は、国道371号バイパスや京奈和自動車道の整備によりアクセス環境が良くなったことから、杉村公園と一体となってにぎわいの創出を図ることを目的として、広場整備を行いました。令和2年度は、駐車場および情報案内板の整備などを行い、11月12日から供用開始します。



■水槽付消防ポンプ自動車購入事業

……………6,589万円
火災に対してより迅速な対応ができるよう、水槽付き消防ポンプ自動車1台を更新しました。

ともに育てる 子どもから高齢者までともに育み学びあうまち

■山田さつきこども園整備事業

……………2億3,192万7千円
岸上保育園・柏原保育園・山田保育園を統合し、民設民営による山田さつきこども園園舎を建設するため、社会福祉法人寿翔永会に補助金を支出しました。令和3年4月から開園しています。

■たんぼぼ園整備事業

……………1億7,705万3千円
たんぼぼ園園舎の老朽化対策および受入定員を増員するために、たんぼぼ園園舎の新築整備工事を実施しました。令和3年4月から開園しています。



▲たんぼぼ園新園舎

■文化センター耐震改修事業

……………1億475万9千円
建築基準法改正前（昭和56年）の建築である文化センターのうち、岸上文化センターと名古屋文化センターの耐震改修工事を実施しました。

■小中学校トイレ改修事業

……………1億9,100万円
令和元年度からの繰越事業で、紀見小学校、隅田中学校、紀見東中学校および紀見北中学校のトイレ改修（トイレ洋式化、床の乾式化）工事を実施しました。

■国民文化祭実行委員会補助事業

……………244万4千円
10月30日から和歌山県で開催される紀の国わかやま文化祭2021において、橋本市内で事業を実施するために実行委員会へ補助金を支出し、開催に向けた準備を進めました。



令和2年度に実施した主な事業

新型コロナウイルス感染症対策

■特別定額給付金給付事業

……………62億4,381万9千円
国の補助金を活用し、コロナ禍における家計への支援として、市内に住民登録のある人を対象に1人につき10万円を給付しました。

■子育て世帯への臨時特別給付金（市単独事業）

……………7,241万円
子育て世帯の生活を支援するため、児童手当受給世帯（0歳～中学生のいる世帯）に対し、国からの臨時特別給付金に加えて、市からも1万円を支給しました。

■GIGAスクール端末購入事業

……………1億8,625万9千円
GIGAスクール構想に基づき、新型コロナ対策の国庫補助金などを活用し、タブレットなどを用いる授業で1人1台の利用ができるよう端末を調達しました。

■橋本農産物消費キャンペーン事業

……………5,168万6千円
新型コロナによる緊急事態宣言などの影響を受けて売上が減少した農家を支援し、農産物の販路を確保するため、「橋本ふるさと便」として農産物の送料負担を行いました。
また、農家のインターネット販売にかかる導入経費を援助するとともに、市内農産物のPRを行い、果物などの販売を促進しました。

■橋本市生活応援クーポン券助成事業

……………3億6,164万円
消毒液やマスクを購入してもらうため、1世帯あたり3,000円の生活応援クーポン券（第1弾）を27,195世帯に発行しました。
また、家庭および地域経済を支援するため、1人あたり5,000円の生活応援クーポン券（第2弾）を62,120人に発行しました。

ともに創る 産業の振興と雇用を創出し定住できるまち

■ふるさと橋本応援寄附金事業（歳入）

……………2億3,755万2千円
ふるさと納税を通じて市の魅力発信や地域産品のPRを行うなど歳入確保に取り組みました。

■工業団地造成事業

……………3億9,042万1千円
和歌山県・橋本市・南海電気鉄道株式会社の三者で実施している「あやの台北部開発事業」について、令和2年度から本格的に造成工事に着手し、令和2年10月から用地の申込受付を開始しました。



▲あやの台北部用地全景（令和3年9月末時点）

■世界かんがい施設遺産小田井用水路大畑才蔵発信事業

……………1,835万3千円
大畑才蔵の人物像や功績などを広く知ってもらうため、国の委託金を活用して、顕彰フォーラムや、世界かんがい施設遺産を活用したバスツアーなどを開催しました。



▲バスツアーの様子

■転入夫婦新築住宅取得補助事業

……………1,200万円
若年者層夫婦の転入促進を図るため、新築住宅を取得した40歳未満の転入夫婦に対して補助金を交付しました。令和2年度の補助金対象となった転入者は124人です。